

竹取新聞

株式会社 カグヤ
東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング
2号館10階



第129版

理念と実践で
絆を結びます

平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一義」の理念のもとに活動しているカグヤクルーの日々の出来事・内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

カグヤグループも
毎日元気に配信中！

カグヤウェブサイト



www.caguya.co.jp

「聴福庵」の情報はFacebookで
f 神家総本家 聴福庵



工事中の新園舎の様子。子どもたちの姿が思い浮かびます。

丁寧な暮らし

岡山県笠岡市にあります富岡保育園さんから、お手紙を頂きました。普段の生活のこととを「暮らし」と表現されているその中には、園児たちが「お土産に」と折ってくれたという号外ニュースも同封されていきました。それは地元の高校生と一緒に作った「園庭用のつくえ」についての記事です。つくえをただ購入するのではなく、高校生と子どもたちが一緒に作る「場」を用意したことで、高校生、園児、先生たち、それぞれが「丁寧

な暮らし」とは何かということを感じられたのだと思います。その「丁寧な暮らし」が子どもたちに「お土産として送ってね」という主体的な心情・意欲・態度を育んだのだと感じます。

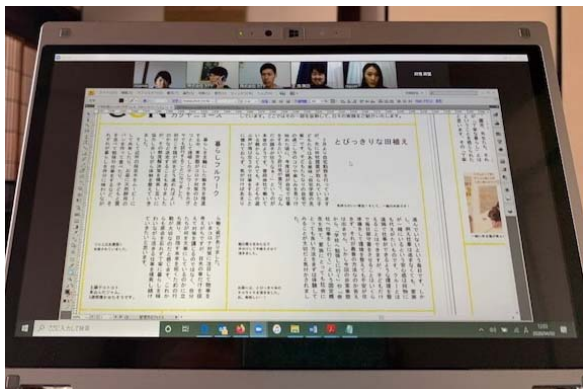
心は「免疫力」を大きく左右する要因ですから、「日々の丁寧な暮らし」が今のこの局面では、子どもたちのみならず、私たち大人にとっても大切であることをこの手紙は教えてくれているように思います。

安心の循環を



社内LINEも「気分転換に」と動画のやりとりが頻繁に！

新型コロナウイルスが猛威を奮う中、色々な方々と「大丈夫？」「免疫あげて乗り越えよう！」など心配や励ましの声をかけ合っています。勿論、お客様をはじめ仕事関係者も多く含まれますが、そこにはお客様だから、仕事だから、という関係ではなく、本当に人々との関係として想い合っていることが感じられ、そんなやりとりからホッと安心が生まれてくることも感じています。他にも周囲に目を向けると「こんな時に自分に何ができるか」を考え行動している人を沢山見かけます。そんな方々からは人として大事な生きる道を示してもらっているようで、自然と自分自身もそんなことを考え、不安どころかやる気がみなぎっていることに気がきます。



この新聞も皆でテレワーク中、再度目的など見直し制作を！

感染が世界を超えてこんなにも広がる中、私たちは

それだけ繋がっていることを実感しますが、こんな時こそ不安ではなく、安心が循環できたらと思いますし、安心でいるには自分の心配ばかりして視野がどんどん狭くなるないう、周りに目を向けたいやることがコツなのかもしれません。

そういう意味ではこの竹取新聞も含め、自分の行動、仕事、声かけ、祈りなど、一つひとつが誰かの何かに繋がっているという気持ちで、職場や家庭でもこんな時こそ周りの元気や安心のために、少しでも役に立てる働きを大事にできたと思います。

心の繋がりが



ビデオ会議システムzoom

園の先生方等とビデオ会議システム「Zoom」を活用する機会が増えています。複数の人と同時に繋がられ、打ち合わせが行えたり、パワーポイント等の資料を映すこともでき、同じ画面を見ながら説明ができます。

ある方からは、「会議で月に一度しか会えなかったけれど、これを使ったら今まで以上に顔を見る機会が増えますね」と仰られ、今までは月に一度の機会を逃すまいと用件を詰め込んでいましたが、ちょっとした用件でも電話のようにすぐに繋がられ、顔を見ながら話ができるのは嬉しい変化でもあることに気が付かれます。



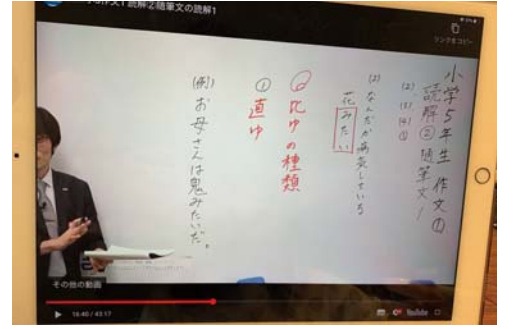
社内でのzoom会議の様子

また、同じ法人で複数の園がある先生からは、「この『Zoom』を活用して園長会をやっています！ どこかの園に集まらないでも打ち合わせが出来るため、ちょっとした打ち合わせで使っています！」等、すでに活用しているお声もお聞きます。

お互いの行き来が難しくなっている時期だからこそ、離れていても表情が見合える安心感を感じます。新しいツールを取り入れながら、思いやりを大事に行動していきたいと思っています。

カグヤでは、それぞれが別々の場所においても、お互いの気持ちや様子をクルー同士はもちろん、皆様とも共有できるよう、毎日、ホームページでブログ配信しています。ここではその一部を抜粋して、日々の実践をご紹介します。

今できる最善を



塾の授業は動画配信に。親も一緒に学べる特典付き！

3月より自宅勤務を行っています。先に休校措置が取られていた子どもたちはある意味「自宅学習の先輩」です。子どもたちなりの自宅での過ごし方のコツや楽しみを見つけ始めた頃に、今度は親が自宅で仕事をするとという非日常が重なり、「なんだか調子が狂うなあ…」というのが本音のようです。

普段会社で働いている親からしてみても、子どもの遊ぶ声が飛び交う中で仕事することに慣れておらず、

気が付けばあまり進んでいないという毎日です。ですが例え仕事は進まなくても、家族が一緒にいるという安心感は何物にも代えがたいものです。クルーとは遠隔で仕事ができるような環境を整えることはできませんが、子どもだけで毎日留守番をさせることはいくら準備をして環境を整えても不安が尽きず、それが最善の方法なのか答えは出ません。

しかし正解を探したりすることよりも、今置かれているそれぞれの環境の中でそれぞれが「今できる最善」を考えて行動してみること自体に意味があるのかもしれない。職種に関わらず、皆が安心して暮らせる社会を考えていきたいと思います。



今年は桜を楽しめなかった方も多と思います。来年はお花見ができますように…

暮らしフルワーク

暮らしを軸にした働き方を推進するカグヤでも、テレワークを試行することになりました。

以前からLINEやメールで情報共有を図り、ビデオチャットでの遠隔会議も行っていました。実際に社内に出社しないとなると郵便物や植物の水やりなど、社内にいなければできない事柄が次々と浮上り、今度はそうしたアナログの部分の補うための段取りに追われるようになりました。

そんな中、近所の桜並木の様子をムービーで共有するクルーの働きかけが皆の心にゆとりを生み、笑顔で

問題解決を図れるようになりました。いまコロナ対策に注目して物事を考えがちですが、目先の事だけを捉えて対策を講じているのではなく、自分たちが何を大事にしているのかに立ち返り、目指す未来を拓くための行動が大切なのだと感じます。これからも原点を忘れず、暮らしの中こそある活きた仕事を模索し続けていきたいと思います。



クルー間のLINEに、突如「卓矢チャンネル」登場！満開の桜に心癒され…

一期一会庵

有事の時こそ

新型コロナウイルスで日本は大変な困難の時を迎えています。このような有事の時には、過去の歴史の中で同様に乗り越えてきた先人達の格言が参考になるものです。

それは子孫へ自分たちが学んだことを伝承し、似たことがあった時にそれを活用して、乗り越えるための気づきを与えてくださっているからです。

有難いことに過去の人々もみんなはじめの有事に挑み、体験から学び、乗り越えてきたから今の私たちにその教訓が語り継がれています。その教訓をどう活かすか、そこから何を気づくか、日々の学問が試される瞬間です。

特に中国の古典は、長い歴史があり参考になるものがたくさんあります。私は論語や易経が好きですが、それ以外にも有事の際の身の処し方や生き方が書かれます。

「臨禍忘憂、憂必及之」（春秋）（災難に直面していながら、やがてくる憂いを危惧しないであると、きっとその憂いが現実のものとなる）

現在の災難に直面している時こそ、これからやってくるであろう憂うべき危険な状態をそのままにしていると、それが必ずやってくるといふことです。

いわば、今すぐに愁いを払うために準備せよということですね。

そして、菜根譚にはこうあります。「天之機緘不測。抑而伸、伸而抑、皆是播弄英雄、顛倒豪傑也。君子只是逆來順受、居安思危。天亦無所用其伎倆矣。」（天が人間の運命をあやつるからくりは、人知ではとうてい推し量ることはできない。抑えて苦しめたかと思うと、伸ばして喜ばせ、伸ばしたかと思うと抑えたりして、みな、英雄をほしのままにもてあそび、豪傑を打ち倒したりするものがある。ただし、道に達した人だけは、天が逆境を与えれば順境として受けとめ、平安な時にも緊急の時に對する準備をしている。だから天もこのような人に対しては、どんな手だても施すことができない。）

この数年、生き方や働き方改革が叫ばれてきましたがまさに今こそ、それをやる好機です。

子どもたちのために、この好機を活かして初心を忘れず禍転じて福にする実践を増やしていきたいと思えます。

編集後記



外に目を向けるとあちこちに春が訪れています！

これまでの「竹取新聞」では、表面は園の先生方の実践、裏面は社内での実践を紹介する面と社内ルールを設けていましたが、これからは表裏なく、新聞をお読み頂いた方の気持ちの明るくなり、ホッと頂けるような新聞にしていきたいね！と話し合いを行いました。様々なことを自

粛する世間の動きは、今の時期大切な行動の一つなのかもしれません。大人の行動を子どもたちは見ているからこそ、私たちは今何が大切なのかを考え、行動していく必要性を感じます。

自粛ムードの中でも心はオープン、前向きに！カグヤで行っている日々の実践を皆様にお届け出来たらと思っています。

（奥山卓矢）

カグヤは「子ども第一義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます



本社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館10階
tel.03-5909-7155
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

フリーダイヤル 0120-917-389
URL: <http://www.caguya.co.jp>
E-mail: support@caguya.co.jp
受付時間 月～金 9:00～18:00
(土・日曜祝祭日を除く)